

すずらん

題字 小川 東州

JAICO

第75号(通算115号)
2017年1月発行



●新年のごあいさつ

●各部よりごあいさつ

●会議議事録報告

●通信養成講座の開講報告

●北海道支部認定カウンセラー研修の感想 レディネスに参加して

●会員の声

○各部からのお知らせ ○行事等のお知らせ(会員研修)

○賛助会員企業様のメンタルヘルス対策をご紹介します!

ループル美術館地下エントランス



新年のごあいさつ

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 北海道支部
支部長 松山 翰吉

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年中は何かとご指導ご鞭撻頂きありがとうございました。本年は2018年6月札幌で開催される「全国研究大会in北海道」成功への鍵を握る準備期間となります。今まで以上に皆様のご協力をお願いすることになりますので、皆様の叡智、情報、行動力を結集し大成功に導きましょう。

昨年、産業カウンセラーに関わる社会労働環境は変革の緒についたばかりではないでしょうか。国主導のストレスチェック制度の義務化によって、行政はじめ民間企業において、改めて「心の健康」の重要性が高まったと言えます。又メディアによって過労死問題が大きく取り上げられ、海外メディアでも「KAROSHI」という単語が生まれました。それほど国内経済発展の裏には見逃してはならない労働問題が山積しており、私たちの活動領域は広がるばかりです。この環境下にあつて、私たち産業カウンセラーの役割、その活動の意味について改めて認識してみましょう。

産業カウンセラーとして心悩める方たちに寄り添い、優しく暖かく傾聴し、その気持ちを理解し、セルフケアがポジティブに向かっていくように、そして管理職の方たちが組織の生産性を向上するには職場の心理的環境改善が必要不可欠であり、その気付きを促すことが今以上に求められるのではないのでしょうか。

改めて、2018年の「全国研究大会in北海道」のテーマを発表致します。

北の大地で考えよう！ ～心豊かに 働ける 職場づくり～

1. 基調講演は、「北の国から」で著名な倉本聡先生を予定しております。
2. 特別講演は「ポジティブ・メンタルヘルス」「ワークライフバランス」の研究で著名な東京大学准教授、島津明人先生を予定しております。
3. 市民公開講座では職場環境改善に関心の高い道内企業家をお呼びしようと企画しております。

本年はこの全国研究大会準備と並行して、2019年までの中期計画を策定中ですが、その初年度に当たり、運営幹部及び運営協議委員一同、一体となって支部運営にまい進致しますので、何卒会員皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

以上



全国研究大会 in 北海道会場の
札幌コンベンションセンター「SORA」





養成講座部



会員の皆様、よき新年をお迎えのことと存じます。酉年の一年、またひとつ年をとりますがとりあえず健康のために睡眠と栄養をとりつつ新しい知識や役立つ技能をどんどん取り入れて産業カウンセラーの資格をとりたい方々のサポートに力を入れます。

(内山)

「鶏鳴を寿ぐ」—鶏が鳴く夜明けをお祝いする— 「寿ぐ」は「言祝(ことほぐ)」ですから、正しくは「お祝いの言葉を言う」ことを意味しますが、カウンセリングの勉強を続けている弱者からすると「CLの言葉を祝福する」という方が、実感としては近いような気がします。CLが相談に来ること、言葉を発することが本人の「夜明け」にできるように、その時を、その言葉を祝福する。そんなカウンセラーを目指していきたいと思えます。

(三宅)

会員の皆様、あけましておめでとうございます。新年、いかがお過ごしでしょうか。養成講座に関わらせていただいていると、時間の流れの速さに驚くばかりで、申の後ろ姿を眺めつつ、傍らの愛犬と共に、ゆったりと新年の静けさを味わっております。試験を受けられる皆様には、十分にご健康に留意されまして、ご健闘を心よりお祈りしております。2017年も皆様にとって素敵な年になりますように。

(菅田)



事業推進部



会員の皆さま 新年あけましておめでとうございます。年末年始の期間、ゆっくり静養されたことと存じます。旧年中は会員の皆様には大変お世話になりました。さて、担当の事業推進活動は、ここ数年、出講の減少等により、厳しい状況が続いておりますが2017年はトサカのアンテナをフルに生かして情報収集し、努力を惜しまない酉年の勤勉さをもって、夜明け前の一鳴きのごとく、明るい兆しをつかみ取っていきたくと思えます。また、今年には2018年度に北海道で開催される全国研究大会に備える大切な年となります。会員の皆さまと、手に手を取り合い、一丸となって成功に導けるよう、努力してまいります。引き続き、倍旧のご支援をいただけますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

(大塚)

新年あけましておめでとうございます。旧年中も養成講座、CC養成講習の開講準備、事業推進部活動ではチームでの資料作成等と、ともに活動する機会が多く、たいへん充実した毎日を過ごしました。ありがとうございました。今年も支部会員同士よろしくお願ひいたします。

(山村)

今年もよろしくお願ひ致します。新年あけましておめでとうございます。昨年の電通事件をはじめ、働く人々の環境はまだまだ厳しい中で新しい年を迎えています。産業カウンセラーとして人と組織に働きかけられるよう今年も力合わせてまいりましょう。まずは、健康に活動できますように…初詣をいたしました。

(諏訪田)



会員研修部



会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は、多くの会員の皆様にご参加いただきありがとうございました。ただ、昨年の途中から研修開催にあたり最少催行人数を設定させていただいたことから、幾つかの研修が中止となってしまいました。受講申し込みを済ませられた会員の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたこと、改めてお詫び申し上げます。今年、昨年の運営状況を踏まえまして、より多くの会員の皆様のご要望にお応えできるよう、会員研修部一同、企画・運営に最大限の努力を傾注して参りますので、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(金)

新年 明けましておめでとうございます。2017年酉年のお正月、皆様におかれましてはいかがお迎えでしたか。同じ日々の繋がりですが、思い一つで違ったものに変える?変わることを、私たちは体験して資格を頂きました。希望に満ちた酉年を目指し、大空を羽ばたく事を夢見て、今年も研鑽を続けていこうと思っております。研修の場で、皆様の笑顔にお会いできることを楽しみにお待ちしております。

(富岡)

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。昨今、働く意欲のある人たちの安定した雇用の実現を目指し、企業が産業カウンセラーに求める要望も多様化しています。私たちは、それに応えるべく自己研鑽を積み、質の高い情報を提供していかなくてはなりません。その意味でも、会員研修部では、皆さんに充実した研修を提供できるよう頑張ります。
(桜井)

相談事業部



会員の皆様 明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。さまざまな場面で皆様のご活躍を目にしたり、お聞きしながら、支部が皆様に支えられていることを実感してきました。今年は、皆さまの支えをもっと活かしながら、北海道にはなくてはならない支部にしたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。
(清水)

会員の皆様、あけましておめでとうございます。昨年は、相談事業部として日々の相談業務や研修の在り方を検討・実施してまいりましたが、会員の皆様はどのように感じておられるでしょうか。来年度も皆様の役に立つ研修を考えていきたいと思っております。ご意見などお寄せいただければ嬉しいです。
(木村)

昨年は、帯広から旭川に転勤して二年目ということもあり、こちらの地区で微力ですが協会の仕事に係わるが多くなった年でした。「自分には出来るのかな…」と思いながらも、先輩COからの半強制的(?)な後押しもあり、半歩踏み出してみると自分でも認識していない新しい発見がありました。今年はまだ旭川に在勤の予定ですので、地区の会員の皆さんと少しでも顔見知りになれるような、関わりあいを持たせていただけたらと思っています。是非とも、知りあいになっていただけますようよろしくお願いいたします。
(今井)

CC 講座部



皆様、新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにはつつがなく、新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年はキャリアコンサルタント養成講習の開講、国家資格キャリアコンサルタント試験対策講座と、キャリアコンサルタントの国家資格化にともない新しい講座の開講に全力で取り組んで参りました。本年は厚労省の2024年キャリアコンサルタント10万人計画、セルフキャリアドック、メンタルヘルス対策とキャリア問題等キャリアコンサルタントの活躍が益々求められる状況の中、北海道支部CC講座部としてキャリアコンサルタントの育成及び資質の向上を目指し講座数の増加、新しい講座企画へも取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
(滝上)

明けましておめでとうございます。皆さま良いお正月を過ごされたことと思います。私も少しばかりの親孝行と家族孝行(?)の時を過ごせてほっとしています。一方で昨年やり残したことを振り返る間もなく新年がスタート…今年もお世話になります! よろしく願います。
(相談事業部兼任 林)

会 員 部



謹賀新年、新しい年が明けました。会員の皆様にあってはどんな抱負をもって迎えられたのでしょうか。私は今年の抱負として「初心に帰る」をかかげ、働く人として、学ぶ人として、一人の大人として1年を送ろうと考えています。さてどんな1年になり成長できるのか、楽しみにしたいです。会員の皆様、一緒に楽しい1年にしていきたいと思います。(安井)

昨年の全国大会、姜尚中さんの講演記録にありました「社会関係資本(ソーシャルキャピタル)」の言葉が今あらためて私の胸に響いています。「つながる」「信頼」「絆」などの大切なキーワードと共に、今年も「私にできること」を探りつつ歩んでいきます。まあ、まずは毎日笑顔でいることからかなあ〜 ←目標小さい?!
(本村)



広 報 部



あけましておめでとうございます。協会の運営に関わるようになってから、毎年恒例の新年挨拶。おかげで干支の意味を調べる習慣ができました。酉年には「奉仕」や「実り」といった意味があるとか。今年は役立つ内容を発信することで皆さまに「奉仕」し、結果、皆さまから沢山の「実り」ある情報を頂ける広報部として頑張っていきたいと思えます。本年もよろしくお願い致します。（藤原）

会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年は来年開催の「全国研究大会in北海道」を成功に導く為の活動も活性化する年となり、広報部としてさまざまな形で関わらせて頂きます。支部や各部との連携を行い、素晴らしい大会になる様、誠心誠意尽力して参ります。また支部ホームページや広報誌すずらんの更なる内容充実を行い、会員の皆さまに有意義かつタイムリーな情報をお届け致します。今年も宜しくお願ひ申し上げます。（加納）



事 務 局



昨年は支部会員の皆様にはいろいろとご支援をいただきましてありがとうございました。本年もよろしくお願い申し上げます。協会本部もいろいろと制度が変わる中、支部事務局としましては少ない人員体制ではありますが会員皆様への情報提供など満足度の向上に努めて行きたいと思えます。（乙坂）



総 務 部



今年もよろしくお願いいたします。さまざまなキャリアをお持ちの会員さんが増えることにより、支部の活動を多方面に広げることが可能となります。今年は役員の改選期。新たな力がどんどんと支部活動に加わってくださることを願っております。（佐久間）



会議議事録報告

2016年度 第9回幹部会議事録 平成28年12月1日(木) 18:30~19:20 出席者:10名

・支 部 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 1 月 2 7 日 理 事 ・ 支 部 長 合 同 会 議 概 略 説 明 (資 料 配 布) ・ 認定カウンセラー・講師の業務委託契約について～4月以降競業禁止・私用車についての項目を明確にしたい。 ・ 中期計画は11日までに提出、25日に会議を実施する。 ・ 推薦委員会スケジュール～直近では12月25日の会議終了後に実施予定。
・ 事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支部職員就業規則改訂について～法定休日の明文化と半日年休の明文化が承認された。 ・ 年末年始の休業について～本部同様12月29日～1月4日とする事で承認された。
・ 事業推進部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月9日に新人講師のランクアップ会議を実施する。
・ 相談事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道受託事業件数報告。レディネス審査研修参加予定8名。 ・ 渡邊忠先生の講演報告、次年度はエンカウンターを実施してみても提案があった。
・ 養成講座部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療大の受講生を一般社会人向けのトレーニングに参加させることが承認された。
・ CC講座部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養成講習は6回まで進んだ。
・ 会員研修部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度の計画は1月21日の会議で決め、2月の幹部会に提案する予定となっている。
・ 広 報 部	<ul style="list-style-type: none"> ・ すずらん新年号、運営協議員に年度初めのあいさつ文の寄稿をお願いしたい。
・ 総 務 部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局員の勤怠に関し、就業規則の再確認をお願いした。



通信養成講座の開講報告

2016年度 産業カウンセラー養成通信講座が開講しました

2016年度の札幌での通信講座(2016年11月~2017年9月)が、12月3日(土)、26名の受講者全員の参加を得て無事開講することができました。

初日のオリエンテーションでは、緊張度の高かった受講者ですが、出会いのワークから二人一組、三人一組へと面接実習を重ねる中で、徐々に表情もほぐれ、少しずつご自身を表現される過程で、今回の仲間達と何とかやっていると手応えを感じていただいたように思います。

11か月という長丁場ですが、受講者全員が無事修了し、未来の産業カウンセラー仲間として迎い入れることができるよう、5名の実技指導者と支部事務局が一体となって、暖かく支援していきたいと思ひます。(指導者一同)

北海道支部認定カウンセラー研修の感想

レディネスに参加して

4月に始まり12月で終了しました。12月の最終審査を終え、まずはほっとしています。参加した感想は二つあります。一つ目は養成講座で学んだ応答の仕方より高いレベルの応答が求められている、と感じたこと、二つ目は自分の応答のくせや傾向がはっきりわかったことです。レディネスで学んだこと、感じたことを今後の自分の活動に活かしていきたいと思ひました。一緒に学んだ8名の仲間がいて本当に良かったと思ひました。 Y・M



会員の声

渡邊 忠先生の研修感想

昨年11月26日、27日の2日間北海道支部認定カウンセラーの皆さまを対象に本部講師 渡邊 忠先生による全体研修会を行いました。

研修のねらいは、『自己一致』の態度を目指すことです。自分の体験過程に気づき、意識化するために、様々なグループワークを行い、他人からのフィードバックを活用しながら「自分をふり返って観る」時間でした。

今年は、同じ渡邊 忠先生による「エンカウンターグループ」をすべての会員の皆さまを対象に行いますので興味がありましたらご参加ください。(相談事業部)



今回初めて、全体研修に参加しました。

今まで受講した研修は、クライアントの気持ちをいかに理解するかという視点がほとんどだったので、自分の内面をじっくり見つめた今回は、とても新鮮で、また、今までとは違う気づきを得られた貴重な時間でした。

「産業カウンセラーにとって自分を振り返る場は必要であり、とても大切なもの」だと先生も言われていましたが、それを実感しました。

また、「一人で振り返るより、仲間と一緒に振り返ることに意義がある」とのお話しも大変納得できたので、今後も1年に一度位は今回のような研修を企画していただきたいと思ひます。

今回の研修のために遠方から参加された方もいらっしゃったとお聞きし、参加された方、それぞれが強い意気込みを持っていらっしゃったことを強く感じました。

来年も是非企画していただき、また沢山の方々と熱い意見をかわして、充実した時間を共に過ごせることを期待しています。

渡邊先生、相談事業部のみなさん、参加された方々、本当にありがとうございました。(野田)



各部からのお知らせ



Each division
Information

- 事業推進部
- 会員部
- 広報部
- 養成講座部
- 会員研修部
- CC講座部
- 相談事業部
- 支部事務局
- その他

相談事業部・会員研修部

◆合同研修会 エンカウンターグループ 実施のお知らせ

「自分らしく生きること」や「心から安心できるあたたかな人間関係」は私たちが望むことですが、厳しい現代社会ではなかなか困難かもしれません。

エンカウンターグループとは『出合いのグループ』という意味です。そこではお互いを尊重し、自分の可能性を安心して育てる生き方や人間関係を探求していきます。このグループでは、通常、数人から10人程度の参加者とファシリテーター（促進者 渡邊 忠先生）と呼ばれるスタッフで構成されます。（人間関係研究会資料より引用）

カウンセラーが、自分の内面の体験に気づき、それをありのままに受け止め、自分の意識を否定したり、歪曲しないでいられること、そのように誠実で、純粹である時にクライアントとの真の援助関係が成り立っていきます。

このエンカウンターグループを通して自分を観ながら、自分を育てていきましょう。

なお、実施要領は以下の通りです。

実施時期：10月7日～9日（3日間）

実施会場：札幌市内「NTT北海道セミナーセンタ」（全員宿泊・食事つき）

参加費用：45,000円

募集人員：10名

すずらん5月号で参加者募集のお知らせいたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

行事等のお知らせ

注意

最少催行人数を設定いたしましたので、予めご了承ください。（最少催行人数設定に伴い、研修中止の際は受講料を返金させていただきます）また応募締切日が道内の講師は催行10日前・道外講師は催行14日前と変更になりました。

会員研修

【平成29年2月の研修】

札幌市「解決志向アプローチの
エッセンス」

3ポイント

日時：2月19日（日）10:00～13:00（3時間）
場所：かでの2・7（1050会議室）
講師：河合祐子（北海道医療大学准教授）
定員：40名（最少催行人数10名）
受講費用：3,000円
申込締切：2月9日（木）

札幌市「産業カウンセラーの知識、
スキルを職場の中でどう活かすか」

3ポイント

日時：2月25日（土）14:00～17:00（3時間）
場所：かでの2・7（1050会議室）
講師：中村 亨（五稜会病院 臨床心理士）
定員：40名（最少催行人数10名）
受講費用：3,000円
申込締切：2月15日（水）

【平成29年3月の研修】

札幌市「学習心理学」

3ポイント

日時：3月18日（土）14:00～17:00（3時間）
場所：かでの2・7（1050会議室）
講師：漆原宏次（北海道医療大学准教授）
定員：40名（最少催行人数10名）
受講費用：3,000円
申込締切：3月8日（水）

賛助会員企業様のメンタルヘルス対策をご紹介します!

システムデザイン開発株式会社様

〒060-0061 札幌市中央区南1条西10丁目1番2 SDDビル
TEL 011-281-6770

今回は、システムデザイン開発株式会社様に、賛助会員になったきっかけと、メンタルヘルス対策についてお聞きしました。

Q 御社について教えてください。

A 当社は1985年の設立以来、道内企業を中心に幅広い業種、業務について、システム設計、ソフトウェア開発、保守運用の一貫したサービスを行ってまいりました。こうして社歴を重ねる事が出来るのも皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝する次第です。さて、新しいビジネス戦略の構築と、新しいビジネスモデルの構築を目指し、2015年12月より法制度化された、「ストレスチェック制度」に対応したサービスメニュー「こころメイト」を立ち上げました。「ストレスチェック制度」に関する、お客様の様々な煩雑な業務を側面から支援し、法制度に則った検診結果をご提供いたします。お陰様で、北海道内の100社を超える企業からご利用を頂きましたが、制度初年度という事もあり、まだまだ多くの改善点が見受けられます。お客様の声をしっかりと受け止めて、来年度に向けて機能改善や機能追加を行い、より使いやすいサービスメニューとする事をお約束いたします。

Q 御社が当協会の賛助会員様になられたきっかけを教えてください。

A 当社はIT企業であることから、正直、「ストレスチェック制度」の全ての領域に関して、ノウハウを備えている訳ではありません。メンタルヘルス対策に多くの実績と歴史を持たれている日本産業カウンセラー協会様のご支援を仰ぐために、賛助会員に加入させて頂きました。

Q ストレスチェック制度の現場に関わって大変だったことはどのような事だったでしょう。また、次年度へ向けての取り組みなどございますでしょうか

A 当社は主に、ストレスチェックの解析をご支援させて頂いておりますが、結果票(ストレスプロフィール)から導き出される内容は予想以上に奥が深く、受検者の方の現状を的確に反映したものだと感じております。それ故に、正確で正しい結果をご提供することが当社の責務でもありますが、より簡潔なサービスメニューを目指し、現在、デジタルペンを応用した新機能の開発を行っております。開発と並行して特許申請も行い、次年度には他社と差別化されたサービスメニューをお届けする予定です。

Q 当協会に「こんなサポートがあったらいい」「ストレスチェック制度に関する提案」などございましたら教えてください。

A 集団分析から導き出される、組織の改善点や指標など、数値データ(健康リスク)と連動した簡素的なガイドライン、チェックポイントがタリフ化されたような内容の情報提供を頂けると有難いです。また、長時間労働が社会問題となっておりますが、勤怠データとストレスチェックの関連性を考察できる手法などありましたら、是非、お願い致します。



SDDビル
SDD SYSTEM DESIGN DEVELOPMENT CO., LTD.
システムデザイン開発株式会社

各種研修申込先

(一社)日本産業カウンセラー協会北海道支部

札幌市中央区北4条西7丁目1番地5
札幌ホワイトビル3階

電話: 011-209-7000 FAX: 011-209-7011



振込先

郵便振替 02700-9-1731

(一社)日本産業カウンセラー協会北海道支部

編集
後記

広報部員のつづがやき

昨年のアメリカ大統領選挙がいい例ですが、良くも悪くも「情報」で大きく動く世の中の到来を痛感しています。良質の「情報」を厳選してお届けする広報部でありたい、などと大きく背伸びした願いを込めて、今年も広報部は頑張ります!引き続き会員の皆様のご理解ご協力を、よろしくお願い申し上げます♪



会員作品: おたる水族館